

## 樋爪館関係資料集 第11号を発刊

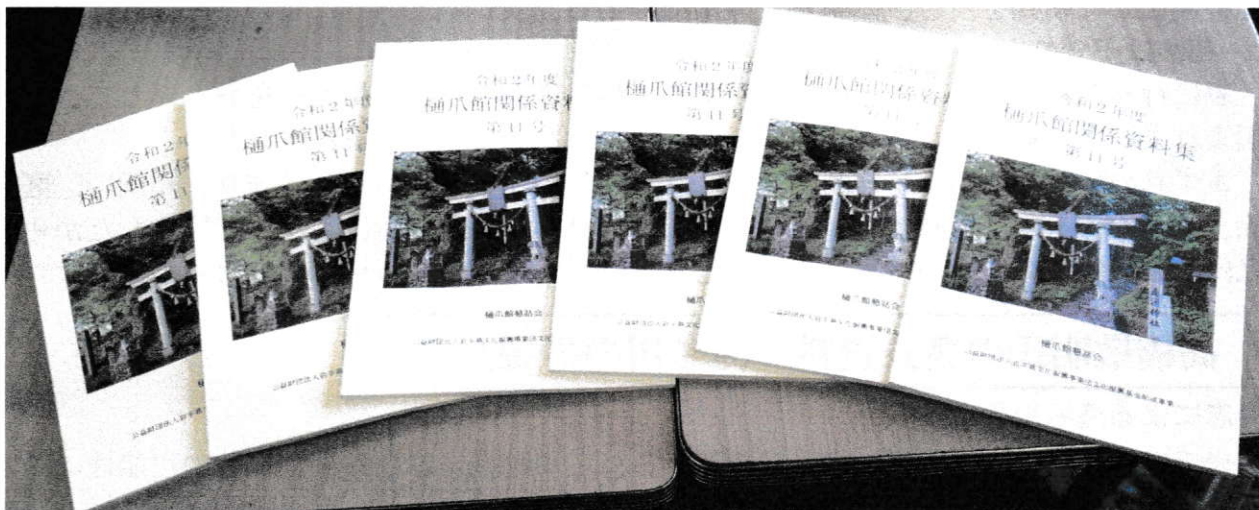
本会の主な事業である樋爪館関係資料集刊行として、このたび第11号を発刊した。この資料集は、本会設立以来ほぼ毎年度発刊されてきており、内容的には前年度の月例発表会において、発表の際に用いました資料等を一冊に集録したものである。

例年約百ページに及んでいますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため発表会を2回ほど中止したものの、例年と同じくらいのページ数となっている。

月例発表会は、樋爪館という名称に拘ることなく、発表者が自由にテーマを設定し、発表に至るまでは、文献書籍の考証、現地踏査や関係者からの聞き取り調査等を行い、それをまとめた資料やパワーポイントにより一人50分程度で発表している。

令和4年2月および3月の月例発表会は、下段の行事予定表により開催される。会員以外でも自由に無料で参加し聴講できる。

令和3年度発表分の樋爪館関係資料集(第12号)は、本年12月に発刊予定である。



樋爪館関係資料集第11号(令和3年12月15日発刊) 頒布は希望者協力の下に行っています。

### 《《令和4年2月～3月行事予定のお知らせ》》

2月11日 (金・祝日)	会員研修旅行 (平泉町)	平泉世界遺産ガイドセンターほか (岩手県内在住会員へ1月中旬に詳細案内済)
2月16日 (水曜日)	第127回 月例発表会	午後7時から午後9時 会場 赤石公民館 講義室 発表者：宇部 真澄 テーマ「ある南部杜氏の回想記2」 発表者：平井 和夫 テーマ「三陸沿岸地域の製鉄遺跡について2」
3月16日 (水曜日)	第128回 月例発表会	午後7時から午後9時 会場 赤石公民館 講義室 発表者：宇部 真澄 テーマ「ある南部杜氏の回想記3」 発表者：金濱 興一 テーマ「志和城の外郭」

1月19日に開催した第126回月例発表会において、二人の発表者が用いました資料からほんの一部文面を、とところどころ抜粋して掲載しますので承願います。

### 宇部真澄氏の発表資料「ある南部杜氏の回想記から1」から

照井杜氏は、尋常小学校を卒業、上平沢国民学校の第一回卒業生、その後報国隊として東京の北多摩郡の軍需工場に行かされ。さらに19年10月から20年3月まで役場より命じられて釜石の大橋鉄山で働きました。その年終戦、親戚の人に誘われ、初めて酒屋働きに出ました。以来平成13年(2001)に73歳で勇退するまで、農業と杜氏生活を貫きました。

そのなかで丹念に書き留めて置いた数々の記録を、過日、自由に使って良いと託されました。これは留めておくべき当時の杜氏生活の貴重な資料と思い、皆様にも披露したく思いました。

#### 1 初めて酒屋出稼ぎ

昭和20年、終戦の年の秋、19歳の齢に初めて酒屋働きに出て見ることになりました。そして、12月の初め、先輩たちに連れられて、酒屋に行くため初めての地に向かいました。着くと先輩たちは、酒屋の家族に丁寧に挨拶し、それから酒蔵に向かったら、酒のにおいが強くびっくりしました。

まず一泊して朝になりましたが、石炭ストーブに火を付けるというのも分からず、広い庭箒きをして朝食を頂き、休憩室で休んでいたら、表(本宅、店)に来いと呼ばれました。

#### 2 初めは子守りから

表に行ったら、おかみさんから、生まれて半年にもならない男の子をおんぶしてくれと頼まれました。鶏も20羽ほどいて、それにエサをやるのも頼まれました。

まず私の仕事の初めは子守りからでした。これが仕事の初めで、子守り、鶏飼、庭掃除、店掃除、そして当時は物が配給時代で表(店)はその配給所にもなっていましたから、私はその配給所の小使いもさせられました。(続きの抜粋は次号に掲載)

### 高橋敬明氏の発表資料「滝名川の砂金」から

#### 有志による滝名川砂金調査

岩手県立博物館の講座で、担当学芸員から滝名川流域における砂金採取の可能性について肯定的な回答がなく、調査も行われず5年過ぎた昨年(2016)の6月。赤沢川の行事に協力している蒲田理氏にお願いしたところ、快諾していただき調査をすることに決定。赤石・志和の地理に詳しい高野修氏と熊谷次雄氏に加わっていただき、蒲田氏と高橋敬明の4名で6月29日(金)に調査を実施した。

当日、赤石公民館に集合し、樋爪館関係資料集第5号巻末の赤石村郷土史教育資料の図面等を参考に、調査場所を事前協議したのち出発。車で国道4号滝名川橋北岸を上流に向かいJR鉄橋下を観察したのち、川へのアクセスの関係から迂回して木戸橋へ。付近の南岸で調査を実施するも発見できず、場所を移動して更に調査したところ砂金が発見された。肉眼では確認できないような大きさであるが、拡大鏡で覗くと正しく黄金色をした燦然と輝く砂金であった。

#### 前ページ行事予定の会員研修旅行に係るお知らせ

岩手県内在住会員の皆さまへ既にご案内しております研修旅行の参加申込は、2月4日正午迄としていますが、その前に定員に達したときは締め切りとし、キャンセル待ちとなります。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策上、直前に中止する場合があります。この場合は、納入済の参加料全額を返却します。